**◆◆クビアカツヤカミキリ対応マニュアル（暫定版）◆◆**

■**クビアカツヤカミキリとは？**

〇クビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモ、スモモなどの主にバラ科の樹木を食害し、樹木を衰弱させ、枯死させる危険性もあります。

〇平成３０年１月に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により特定外来生物に指定され、飼育、保管、運搬、輸入、野外への放出等が原則禁止されています。

〇幼虫は、４～１０月頃に樹木内部を摂食し、大量のミンチ状のフラス（木くずと糞の混合物）を排出しながら2～3年過ごし、5～8月頃に成虫となって樹木の外に現れます。

〇成虫は、体長約2.5～４ｃｍ、全体的に光沢のある黒色で、胸部（首部）が赤色が特徴です。

■**クビアカツヤカミキリの確認方法**

**〇確認する場所**

　公園、学校、河川敷、街路樹、公共施設など

**〇確認するポイント**

①樹木の被害

・被害に合う樹種はサクラ、ウメ、モモ、スモモなどバラ科樹木。

・高さ２ｍ程度までの樹幹や根元に大量のフラス（木くずと糞の混じったもの）の排出がないか。

・高さ２ｍ程度までの樹幹や根元に縦に長い楕円形で長径２～３ｃｍ程度の脱出孔がないか。

※木の股の部分、樹幹の根元、根が地表に現れている部分も確認する。

※クビアカツヤカミキリのフラスかどうか判断つかない場合は、樹木の全体、フラスが出ている部分、フラスの拡大写真を撮って、様式１にて県担当課まで連絡する。

　②成虫

サクラ、ウメ、モモ等の樹木、周辺樹木の樹幹や枝、樹冠などに止まっていないか確認する。

**〇確認時期**

　・成虫は５～８月頃、幼虫の排出するフラスは４～１０月頃まで発生するため、定期的な確認が必要。

**■クビアカツヤカミキリの防除方法**

**〇成虫**

　・見つけ次第捕殺。

　・可能であれば、写真を撮って様式１にて、県担当課まで報告。

**〇幼虫**

　・フラスが出ている穴から針金や千枚通しなどを使ってフラスをかき出す。

　・可能であれば、針金で幼虫を刺殺する。

　・エアゾール式農薬を注入して樹幹内にいる幼虫を殺虫する。

**〇被害木**

　・幼虫が入った樹木は、できるだけ伐倒、焼却処分を行う。

　・伐倒した場合は、残った伐根もネット巻き等の対策を行う。

　・伐倒できない場合は、薬剤を注入し、成虫の拡散防止のためネットを巻く。週１回程度定期的に見回りを行い、成虫を見つけた場合はただちに捕殺する。

　・被害木周辺のバラ科樹木に薬剤散布を行う。

**【注意事項】**

・クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されているため、生きたまま持ち運ぶことは原則禁止。

・伐倒した被害木を別の場所に運んで焼却する場合は、[平成３１年３月２６日付け環境省通知「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の規制に係る運用（クビアカツヤカミキリの運搬および保管）について」](https://www.env.go.jp/nature/intro/1law/files/190326kubiaka_tsuuchi.pdf)の記載事項に留意し、運搬を行う。

・フラスや成虫の特徴や防除方法等の詳細については、以下を参照。

[クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル（栃木県）](http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kannkyou/documents/kubiaka_manyuaru_ver1.pdf)

[クビアカツヤカミキリ被害対策の手引書（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）](http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/portal_info/doc/2019070500011/file_contents/kubiakatebiki.pdf)

　・県内の被害状況等については、[県景観・自然環境課のホームページ](http://www.pref.nara.jp/2613.htm)を参照。

**■クビアカツヤカミキリかどうかの判断について**

　クビアカツヤカミキリかも知れないと電話で問い合わせがあっても、他の虫の被害であることが多いです。できるだけ電話や写真で判断できるよう、以下の例を参考に対応してください。

**「クビアカツヤカミキリを発見した」と電話があったら・・・**

Q１：成虫がいます。

A１：特徴を教えてください。（[県クビアカツヤカミキリチラシ](http://www.pref.nara.jp/secure/215490/kubiaka_chirasi.pdf)を参照し、特徴が当てはまれば）すぐに捕殺してください。可能であれば、その後写真を撮って送ってください。

　　　※よく似た昆虫（ゴマダラカミキリ、ベニカミキリ、ホタルカミキリ、ヨコヅナサシガメなど）の可能性もあります。

　　　　→詳しくは[栃木県「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」P.9](http://koryunet.office.pref.nara.lg.jp/Scripts/dneo/zwmljs.exe?_=1585281717498#page=MailList&)参照

　　　※判断がつかない場合、クビアカツヤカミキリであると考えられる場合は、様式１にて県担当課に連絡してください。

Q２：フラスが大量に出ています。

A2：フラスが出ている木の樹種は何ですか？

　　［サクラ、ウメ、モモ、スモモ、ハナモモの場合］

→クビアカツヤカミキリかどうか確認しますので、フラスの出ている状況の写真を撮って送ってください。一カ所につき、樹木の全体、フラスが出ている部分、フラスの拡大写真の3枚撮ってください。写真が難しい場合は、フラスを採取して郵送してください。

　※[栃木県「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」P.10](http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kannkyou/documents/2018oct_furasu_miwakekata.pdf)参照

　※判断がつかない場合、クビアカツヤカミキリであると考えられる場合は、県担当課に連絡してください。

　　［５種以外のバラ科樹種（ビワ、ナシ、モッコウバラ、ヒメリンゴなど）の場合］

　　　→クビアカツヤカミキリの可能性は多少ありますが、国内では現在被害は出ていない樹種です。念のため確認しますので、フラスの写真もしくは、フラスを採取して郵送してください。

　　　　※フラスがクビアカツヤカミキリのものと違うと判断できる場合は、その旨連絡して対応終了。

　 ［バラ科以外の樹種（イチジク、カエデ、ツツジなど）の場合］

　→クビアカツヤカミキリの可能性はありません。【対応終了】

【問い合わせ先】

奈良県 水資源・森林・景観環境部 景観・自然環境課 自然環境係

〒630-8501　奈良市登大路町３０

Tel：0742-27-8757　Mail：ikimono@office.pref.nara.lg.jp